

自ら考え行動し、深まった絆

～宿泊体験学習を終えて～

6時30分の起床から始まった2日目。朝食を済ませた子どもたちは、これまで過ごした部屋の清掃に取り組みました。自分たちが使った場所を自分たちできれいに整えることも、宿泊体験学習の大切な学びの一つです。午前9時から、プラネタリウムで星の動きについて学習しました。普段の生活ではなかなかじっくり見ることでできない星空を映像で見ながら、星の動きや宇宙の不思議に目を向けました。子どもたちは、これまで知らなかったことに触れ、新しい発見を楽しんでいる様子でした。その後は、アスレチックに挑戦しました。体を動かしながら、友達と声を掛け合ったり、励まし合ったりする姿が見られました。一人では難しく感じることも、仲間と一緒に挑戦してみようと思える。そんな「仲間とつながる力」を感じる場面もたくさんありました。





アスレチックとプラネタリウム



アスレチックやプラネタリウムは多くの子どもが楽しみにしていた活動です。中津市は雨でしたが、九重町では雨が降らず、アスレチックも予定通り体験することができました。プラネタリウムでは、星の動きを学習しながらも、眠ってしまった人がいたかもしれませんね。





11時30分には退所式を行いました。自然の家での2日間を振り返り、施設の方への感謝を伝えて、宿泊体験学習を終えました。

その後、最後の昼食をみんなで味わい、13時に自然の家を出発。15時15分頃、学校に到着しました。学校で行った解散式では、少し疲れた表情の中にも、2日間をやり遂げた満足感が感じられました。



この2日間、子どもたちは、普段の学校生活とは違う環境の中で、友達と協力しながら生活する経験を重ねました。自分のことを自分ですること、決められた時間やルールを意識して行動すること、困ったときには友達と支え合うこと。

こうした経験の積み重ねが、「自分を律する力」や「仲間とつながる力」につながっていくのでしょう。

今回のホームページの記事が、親子で話す「会話の種」の一つになれば幸いです。今後とも教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。